



昨年18号棟に設置されたラック。駐輪も整然と。

設置工事にあたって理事会で審議したところ、今後の高齢化により自転車の保有台数は減少が見込まれるため、ラックの設置台数を見直すべきとの意見が出されました。そこで各棟のラック設置台



「風が強い日は自転車がバタバタ倒れて困る」。理事会は住民からのこんな声に応え、各棟の自転車置場に転倒防止のためのラック設置を決め工事に着手。11月には使用可能になります。以前から要望を多くいたいでいたもので、風の影響を受けやすい高層棟など



《発行所》  
若葉台第一住宅  
管理組合  
坂戸市千代田4丁目7番30号  
電話 049-283-7950  
メール:kanri889\_new@wakaba1.com  
http://www.wakaba1.com/

7棟には昨年までに先行して設置していました。  
今年度の工事は残りの全

棟分（テラス棟を除く）と  
住戸につき1台と推定する。

②Bブロックの入り口に既に設置されているラックは継続利用する。

③現在の契約台数が住戸数より多い棟はその分のラックを設置する。

以上の原則に基づきラック数を見直し、当初の予算より154万円削減することで理事会の承認を得ました。そのため自転車置場の中にはラックが設置されない区画もあることをご了承ください。限られた管理費を有効に使っていくため、今後も支出の削減に努力したいと考えています。



ここで紙面をお借りして最近施設管理部に寄せられた要望をご紹介したいと思います。①コンセント廻りのほこりや鏽により火災の心配があるので注意喚起を依頼す

## 自転車各戸1台所有を基準に

施設管理部長 石津裕造

## 表層崩落の「プリン山」修復 14号棟北側



左上が崩落部分=7月9日撮影



修復間近のプリン山=10月20日撮影

今年6月に14号棟北側のプレイロットにあるプリン山表面が剥がれているのが見つかりました。これまでのプリン山は「人造石研ぎ出し」と言われる工法で行われていました。これはセメントに小粒の石を混ぜ合わせたものを塗り固めた後に表面を研磨して平滑にする工法です。当初は同じ工法で補修する予定でしたが、近年の職人不足で膨大な費用を要することが分かりました。そこで数々の団地で補修実績のある日本総合住生活（J.S.）の提案を受け、モルタルで下地を補修した後、表面に滑り台に適した塗装を施すこととなりました。登りやすくなるために一部に滑りにくい塗装を付け加えています。滑りにくい部分は、安全上の理由から滑り台の部分と判別しやすいよう濃い色としたため、見た目が補修前と変わっていることをご了承いただきたいと思います。

子どもたちに安心して安全に遊んでもらうため、住民の皆様には見守りにご協力いただければ幸いです。

施設管理部長 石津裕造

るものでした。②浴室に関することで、ブロックにより異なるとは思いますが浴室の床がプラスチック製の場合、劣化のためヒビや穴が生じて漏水が起きる可能性を指摘する内容でした。二つの事象は

りました。7月から使用中止していましたが、10月中旬から補修工事を実施し、このほど修復されました。

これまでのプリン山は「人造石研ぎ出し」と言われる工法で行われていました。これはセメントに小粒の石を混ぜ合わせたものを塗り固めた後に表面を研磨して平滑にする工法です。当初は同じ工法で補修する予定でしたが、近年の職人不足で膨大な費用を要することが分かりました。そこで数々の団地で補修実績のある日本総合住生活（J.S.）の提案を受け、モルタルで下地を補修した後、表面に滑り台に適した塗装を施すこととなりました。登りやすくなるために一部に滑りにくい塗装を付け加えています。滑りにくい部分は、安全上の理由から滑り台の部分と判別しやすいよう濃い色としたため、見た目が補修前と変わっていることをご了承いただきたいと思います。

子どもたちに安心して安全に遊んでもらうため、住民の皆様には見守りにご協力いただければ幸いです。

施設管理部長 石津裕造

るものでした。②浴室に関することで、ブロックにより異なるとは思いますが浴室の床がプラスチック製の場合、劣化のためヒビや穴が生じて漏水が起きる可能性を指摘する内容でした。二つの事象は

いずれも専有部分とはなりますが、他住戸に被害を及ぼす危険がありますので日常の点検で気を付けていただけだと思います。

今後とも管理組合活動にご理解ご協力を願い致します。

# 空き駐車場の有効利用スタート



駐車地区変更手続きをする契約者  
(右側) = 9月18日



空きが目立つ駐車場 = 18号棟前のG地区

地区	空き台数 (9月11日抽選時)	地区変更申請数 (9月1~10日の受付期間)	契約手続き数 (9月18日契約当日)
A	0	0	0
B	1	1	1
C	3	1	1
D	2	0	0
E	0	0	0
I	1	3	1
J	2	0	0
K	7	14	7
L	0	4	0

\*元々空きの多いF G H地区は、隨時契約可能としたため、申請書による変更希望の受付は無し。

省力化により、抽選・位置選定作業を行わず、検討してまいります。この詳細についても、今後理事会で検討してまいります。

## 変更申請は随时可

若葉台第一住宅の駐車場は、678台分の駐車スペースを住民用として使っていますが、毎月解約と新規契約が発生します。高齢で免許を自主返納し、車を手放すというケースも目立つため、駐車スペースに空きが生じています。これを有効に活用できないか理事会で検討を進めてきました。そこで空き情報を開示し、1台目の契約に限り、駐車地区の変更希望に応じることを決め、9月から受け付けを開始しています。併せて、住民優先の観点から、集会所前K地区の来客用駐車場10台のうち、6台を住民用として活用する措置もとりました（来客用駐車場4台はそのまま6台をH地区に移動）。最初の駐車地区変更作業は9月1日から10日まで「駐車位置変更希望申請書」を受け付け、11日に希望地区ごとに選定順位を決める抽選を実施。18日の契約手続きを経て、10月1日に車両移動という流れです。

若葉台第一住宅の駐車場は、678台分の駐車スペースを住民用として使っていますが、毎月解約と新規契約が発生します。高齢で免許を自主返納し、車を手放すというケースも目立つため、駐車スペースに空きが生じています。これを有効に活用できないか理事会で検討を進めています。

そこで空き情報を開示し、1台目の契約に限り、駐車地区の変更希望に応じることを決め、9月から受け付けを開始しています。併せて、住民優先の観点から、集会所前K地区の来客用駐車場10台のうち、6台を住民用として活用する措置もとりました（来客用駐車場4台はそのまま6台をH地区に移動）。

コロナ禍により2021、2022年度は、駐車場契約作業が実施できませんでした。600名弱の住民の方が集まり、抽選・位置選定・契約手続きを1日で行う形は、感染を助長させるとの判断からです。

2022年度の駐車場契約作業実施を検討する際に、お住まいの棟と現在契約している駐車地区との相関関係を調査しました。その結果、概ねお住まいの棟の近くに駐車できることがわかりました。しかし、2年続けて通常の契約作業ができないことから、現駐車位置に不満を感じている方もおいででしょう。

今後の課題として、駐車地区内の移動についても検討します。今年度の通常総会で、駐車場契約を自動更新する議案が承認されたため、新規契約以外は、2023年度を以て契約手続きを終了する予定ですが、今回の有効な検討により、抽選・位置選定作業を行わず、この検討してまいります。

## 駐車地区の変更可 来客用一部を住民用へ

総務部長 大野早百合

ぞれ当選。契約手続きは全部で10名でした（一覧表参照）。申請書の受け付けは随時行っております。空き待ちとなる地区については、先の抽選で決定した順位の後ろにつき、空きが出た場合に、順番に契約手続きを行います。

坂戸市防災訓練にあわせて9月4日(日)午前8時30分、市の防災行政無線と緊急速報メールが流れ、住民によるシェイクアウト（一斉安全確保）訓練が実施されました。これを受け、恒例の黄色いタオル作戦（安否確認タオルをバルコニーに掲出）を開催。

黄色いタオル作戦の参加戸数は今回522（参加率61%＝空き室を除く）で、昨年の参加戸数298、参加率34%から大幅に増えました。昨年と異なり、市の防災訓練、緊急速報メールの訓練配信が実施されたため、住民の防災意識を刺激したものと思われます。

防災訓練等は来年以降も継続されますので、これからも皆さまのご協力をお願いいたします。

自主防災会長 小塚 伸一

## 黄色いタオル掲出数

## 昨年より大幅増



## 防火訓練・救命講習会に120名

防火訓練・講習会、普通救命講習会が7月にあり、坂戸・鶴ヶ島消防組合の協力を得て、3年ぶりに実施することが出来ました。

防火訓練・講習会は7月3日(日)に開催され、約100名が参加。(1)通報訓練(2)初期消火訓練(3)煙中通過訓練及び救出訓練ですが、(3)は当日落雷があり、天候不順のため取りやめに。

訓練ではまず消防署に119番し火災発生を通報。集会所前で初期消火訓練。参加者は大声で「火事だあ」と叫び、水消火器を的に向けて噴射。初めて扱う人も多く、有用な訓練となったと思います。

普通救命講習会は7月17日(日)午前8時45分から開かれ、約20名が参加。消防署の2名の方から救命について説明を受け、集会室2で2名一組になり実技を開始。人が瀕死の状態と想定し、まず反応を確認。助けを呼び、胸骨圧迫・心肺蘇生訓練を経て、AEDの説明を受けました。

約3時間の講習でしたが、受講者は真剣な眼差しで人工呼吸やAEDでの蘇生実技に取り組みました。講習終了後に「修了証」を渡された受講者は自信に満ちた表情でした。





真夏の風物詩「徒渉池開放」、「ラジオ体操」。今年は両行事を同期間で並行して実施し、3年ぶりに全日

## 徒渉池水遊び、ラジオ体操大にぎわい

コミュニティ部長 横田 光朗

程を消化することが出来ました。

徒渉池について過去の利用者数と比較すると、2019年は19日間実

施し延べ418人（1日平均22人）でした。今回は、10日間実施し26

2人（同26人）でしたから、若干増加したことになります。増えた理由は一概に言えませんが、今年の猛暑が一因と思われます。

ラジオ体操の実施日数は、2019年と同じ10日間です。参加者は、2019年は延べ342人で、今回は450人でしたから、こちらも108人増加しました。天候に恵まれたことや、コロナ禍で体を動かしたいと思ったみなさんが奮って参加してくれたのだと思います。

今後もコロナ感染等に十分注意しながら実施していきたいと思っております。ご協力お願いいたします。

### 植栽ひとすじ20年

富田 要さん



### 令和4年度「さつき賞」受賞

坂戸市は令和4年度のさつき賞に個人9人、2団体を選定。個人として当団地から富田要さん（2号棟203室）が受賞し、9月29日に管理組合集会室で市職員から表彰状が渡されました。「専ら推薦する側だったが、受賞できて感激です」と富田さん。さつき賞は住みよい地域社会の実現のために活動を続けている個人または団体に、市が毎年その活動と功績を顕彰するものです。

（広報部）

### トピックス

### 屋外掲示板8カ所を一新



塗装はめくれ、屋根は錆だらけ、掲示物は雨ざらし。管理事務所棟設置分を除く8カ所の屋外掲示板が7月下旬、新品に更新されました。

旧掲示板は1979年の入居開始時点から設置され、途中で塗装の塗り直しがありました。寄る年波には勝てず無残な姿をさらけ出していました。新しい掲示板は全面明るい塗装で、掲示物はマグネット留め。アクリル板がはめ込まれ、掲示物を風雨から守ってくれます。

団地内コミュニケーションの一環として、掲示板を大いに活用しましょう。

（広報部）

たり、落ち葉を掃いたりと同じ目的に向かって作業することだと思います。

コロナ禍の影響でなかなか顔を合わせて行事をすることが難しいですが、やはり直接会って表情を見ながらお話をすると嬉しいものです。今後の行事も安心・安全を考えながら、少しずつ動いていきたいと思います。

（コミュニティ部副部長 高木厚志）



### 3年ぶりに道路愛護・美化清掃

団地周りの道路愛護・美化清掃作業が8月28日に行われました。朝7時に集合。日ごろお世話になっている道路を団地の皆様で掃除するものです。毎年8月最終日曜日の恒例行事ですが、コロナ禍で2年間中止になり3年ぶり。

この行事の良いところは朝から皆様と顔を合わせてコミュニケーションをとりながら、ゴミを拾つ



(上) 現存する弾薬庫(坂戸中)



(下) 旧陸軍飛行場本部(現法務局)

=『旧陸軍坂戸飛行場の足跡』

(坂戸市)から転載

「次の者に翌朝9時に認印を持参し出頭するように」。陸軍少佐と憲兵が役場に来て職員に命令。1940年(昭和15)2月某日15時ごろのことでした。

翌日坂戸小学校に呼ばれた地権者たち。軍刀をガチャつかせた少佐が、「軍の施設を造るので、署名捺印の上お帰り下さい」と通告。地権者たちは質問さえできず、売買契約書に署名捺印。どんな施設を造るかも知らず、土地を奪われ

31号棟 大久保俊秀

1941年5月25日、入間に開設された陸軍航空士官学校の坂戸分教場として飛行場が開場。広大な空域を必要とする飛行訓練のため、日高と共に造られました。坂戸飛行場は、操縦や整備・通信など専門家の養成機関。坂戸・鶴ヶ

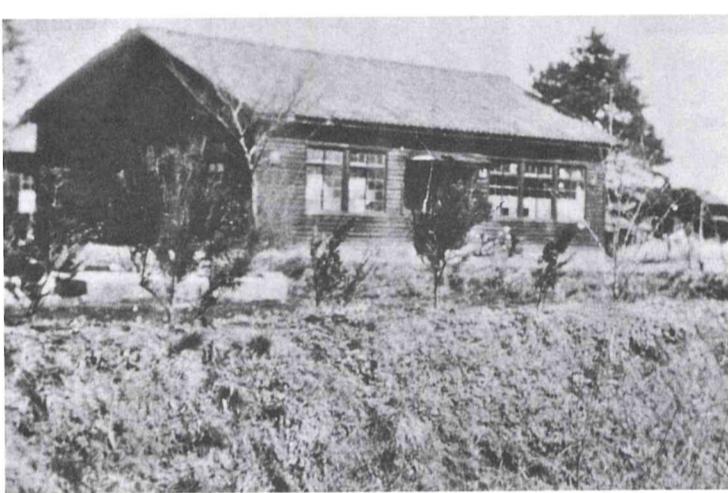
島・川越に広がる約70万坪の敷地で建設されたのです。

1941年5月25日、入間に開設された陸軍航空士官学校の坂戸分教場として飛行場が開場。広大な空域を必要とする飛行訓練のため、日高と共に造られました。坂戸飛行場は、操縦や整備・通信など専門家の養成機関。坂戸・鶴ヶ

## 千代田の歴史散歩3 陸軍坂戸飛行場

島・川越に広がる約70万坪の敷地に、飛行場本部、格納庫6棟、弾薬庫2棟、兵舎3棟等がありました。

滑走路は砂利で、現坂戸、鶴ヶ島下水道組合付近から北東の南小方向へ。空爆が激しくなった45年早春、教官・訓練生は満州(中国)に逃げました。



東北部)へ移転。その後同年5月、輸送部隊が坂戸飛行場に転進。終戦間際制空権を米軍に握られている中、医療機器や薬品を南方戦線に輸送していました。坂戸小や松山中(東松山)の男子児童・生徒たちが、勤労動員で飛行場の除草などに従事したことが記録に残っています。

終戦後の45年11月、米軍歩兵部隊中隊が坂戸飛行場へ駐留。46年4月から跡地で開拓入植が開始。表土が削られ固められた土地の開拓は、想像を絶するものでした。

53年9月、米軍と日本政府は開拓入植地を米軍通信基地にすると一方的に通告。開拓者たちは「無線基地化反対期成同盟」を結成し、1年半ほどの闘いで基地計画を撤回させました。創設された坂戸観光協会と入植者たちは、飛行場跡

地を二度と軍事基地にさせないため、外周に平和のシンボル桜を植樹。坂戸中や筑波大付属坂戸高校の歴史とコミュニティーを壊した戦争を、二度と起こさぬよう語り続けたいものです。

### My趣味

### 「あみぐるみ」趣味高じて作家に

23号棟 塙永真映美

初めて手縫い糸で  
編んだもの

したが、使用する糸は全て毛糸。細い糸だとレース糸が精いっぱいでした。

そして2年後、あみぐる

みを手縫い糸で編む作家さんに出会い、レース糸でも苦戦していたのに、何を血迷ったか極細の手縫い糸の世界に手を出していました。主に鳥類、時々ケーキなど甘味

を編んでいます。この糸の良さは色が豊富で持ち歩きやすいこと。いくつか編んでいるうちに、ご縁があって手作り雑貨店での委託販売が作家デビューとなりました。2015年暮れのことです。

その後、作品を載せていましたウェブサイトを通じてお説いいいただいた委託先がきっかけでイベントに参加、良い経験になっています。小さな作品なのでイベント用の大量生産には苦労しますが、お客様の笑顔に接すると疲れも吹き飛びます。